

水生生物を観察

「天然岩の滑り台」体験も

と保護者ら計九十人が
参加した。

水生生物の調査は、

紀北町海山区の銚子川上流の景勝地「魚跳渓」で二十一日、川遊びで水生生物の調査をする体験学習が開かれた。

町教育委員会が事務局を務める「いきいき

子ども学園」に、県やNPO法人「ふるさと企画舎」が協力して実施。町内の児童五十人

ひとり水生生物の調査を

自然を感じてもらおうと企画。児童は網を手

に、川底の石をめくり、カゲロウの幼虫の仲間などを観察していくた。

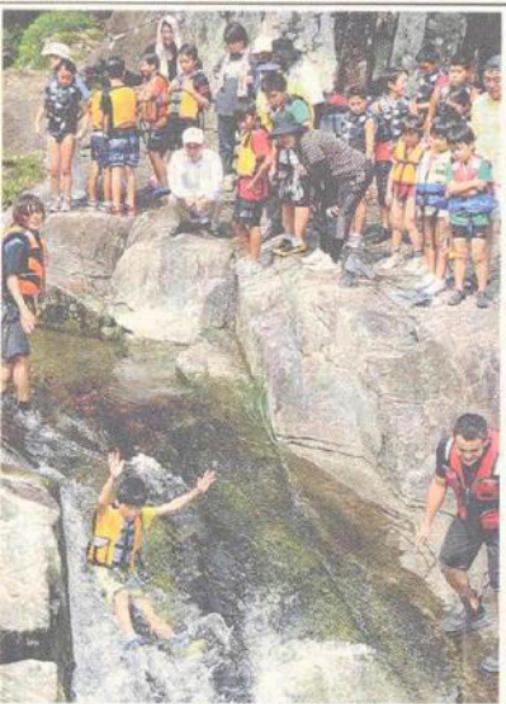
魚跳渓の名物「天然

岩の滑り台」や、川岸に張ったロープを使って遊ぶ体験もあり、子どもたちは夏の川を満

喫していた。

西小学校五年生の木下桃果さん(こ)は「水生生物は動きが速くて捕まえるのが難しかった」と話した。

(藤原啓嗣)



「天然岩の滑り台」に勢よく体を躍り込ませる児童



川底の石をめくって水生生物を観察する児童たち=いずれも紀北町海山区の銚子川で